平成30年度岡山桃太郎空港の利用実績について

平成30年度の岡山桃太郎空港の利用者数は、台北線が毎日運航となるなど、国際線利用者数が大幅に増加したことから、全体として前年度を上回り、1,583,054人《対前年度比104.0%》となった。（以下、《 》内は対前年度比）

１ 国内定期路線

利用者数は２年連続で増加し、1,273,084人《101.5%》となった。

（１）東京線

年間を通じて好調であったことから、前年度より増加し、1,103,308人《101.6%》となった。

航空会社別では、全日空が648,025人《98.8%》、日本航空が455,283人《106.1%》であり、日本航空は平成14年の就航以来最多を記録した。

（２）札幌線

昨年９月の北海道胆振東部地震の影響による落ち込みがあったものの、全体の利用者数は前年度より増加し、６年連続で７万人を超え、77,790人《103.5%》となった。

（３）沖縄線

搭乗率約８割と好調に推移しているが、修学旅行需要に対応する臨時増便が前年度と比較して減少したため、利用者数は91,986人《97.7%》となった。

２ 国際定期路線

台北線の毎日運航などにより、利用者数が初めて30万人を超え、開港以来最多の304,569人《118.0%》となった。

（１）ソウル線

平成29年７月からインバウンド向けのスケジュールとなり、訪日需要を背景に利用者数は、前年度に引き続き10万人を超え、100,799人《98.8%》となった。

（２）上海線

中国の旺盛な訪日需要等を背景に、前年度より増加し、66,738人《118.3%》となった。

（３）香港線

昨年11月に週３往復に増便されたことから、利用者数は32,783人《110.5%》となった。

（４）台北線

平成28年７月に週３往復で就航し、その後の相次ぐ増便により昨年３月末には毎日運航が実現した。利用者数は初めて10万人を超え、104,249人《149.1%》と大幅増となった。

３ チャーター便

国内外に77便が運航され、利用者数は5,401人《60.0%》となった。

国際チャーター便は、高雄（台湾）からなど16便が運航され、2,192人《36.0%》となった。

国内チャーター便は、北海道、東北、石垣島など61便が運航され、利用者数は3,209人《110.3%》となった。

平成３０年度岡山桃太郎空港利用実績集計表

１　国内定期路線　　（単位：人，％）

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
東 京 線	1,103,308	+17,860	101.6	75.1
札 幌 線	77,790	+2,660	103.5	65.1
沖 縄 線	91,986	▲ 2,183	97.7	79.2
計	1,273,084	+18,337	101.5	74.7

２　国際定期路線

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
ソウル線	100,799	▲ 1,208	98.8	72.6
上 海 線	66,738	+10,306	118.3	73.7
香 港 線	32,783	+3,121	110.5	76.0
台 北 線	104,249	+34,316	149.1	80.7
計	304,569	+46,535	118.0	75.8

３　チャーター便

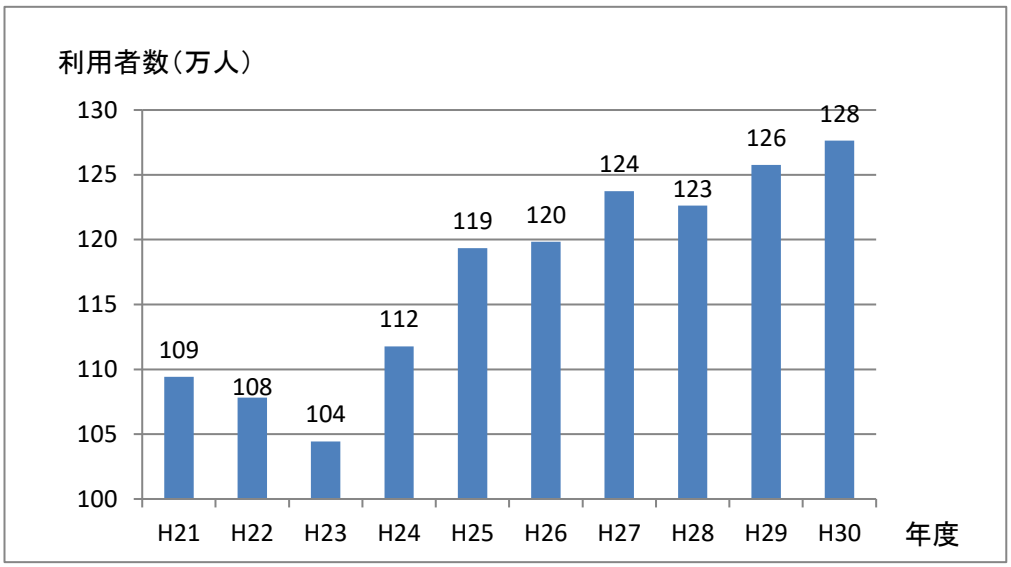
路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
チャーター便	5,401	▲ 3,603	60.0	72.3

４　総　　計

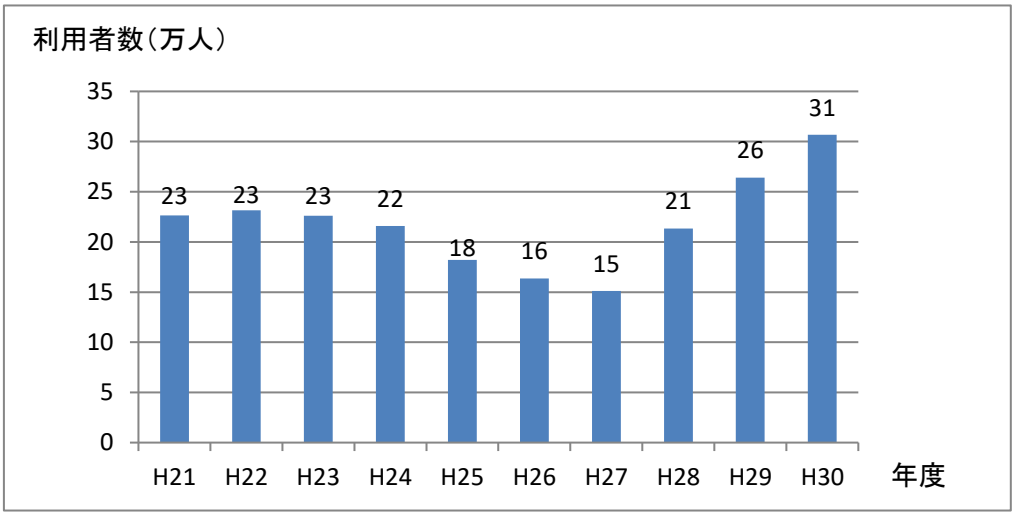
	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
総　　計	**1,583,054**	**+61,269**	**104.0**	**74.9**

岡山桃太郎空港利用者数の推移

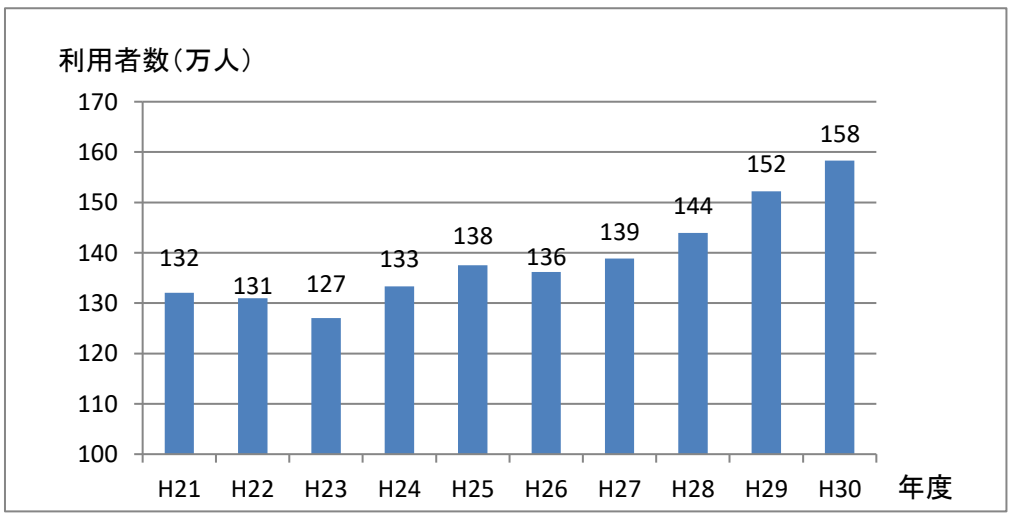
1 国内線



2 国際線



3 国内線＋国際線



※利用者数には、チャーター便を含む。